

「鎮魂の季節！」 - 語り継ぎたい平和の尊さ -

風登原

第12号

校長:上間忠彦

学校教育目標)

- 自ら考え進んで学習する子
- 思いやりの心で行動する子
- 進んではたらき最後までやりぬく子
- 進んで体を鍛える子



慰霊の日 (県条例)
 昭和二十年六月二十三日
 沖縄防衛団三十二軍団の
 牛島司令官の自決により、
 沖縄の組織的戦闘が終結し
 た日と云われている。
 今年で、七十三年目の
 「慰霊の日」を迎えた。

【慰霊の日】梅雨明けの暑さが厳しい、炎天下での慰霊祭開催となりま
 したが、戦没者の御魂に誠を捧げ、「遺族の皆様には、哀悼の意を
 捧げます。」そして「戦争とは何か」を考え、命の尊さを深く胸に刻
 み、平和への祈りを捧げる一時にしたいと思っております。この慰
 霊祭も、年に一度ではございますが、これからも毎日を生きていく、
 私達が平和な世の中を創り上げながら、戦争で亡くなられた方々に
 思いを馳せ参りたいと存じます。そして、学校においても明日を切り
 拓く子ども達が、毎日を楽しみ、元気に過ごし、地域の後継者として育
 つことを目指して参りたいと思っております。」(上本部小学校校長・上間忠彦)



各行政区の「慰霊祭」の様子

平和講演会の様子



「共学教育」：共に学び、共に成長しよう！

「脱皮しない 蛇は 死ぬ」(ニーチェ)